

一念寺 4月のおたより 生れてきたわけ



4月8日はお釈迦さまの誕生日です。

「花まつり」としてお祝いします。

お釈迦さまは生まれつぐに、東西南

北に七歩歩き、天と地を指さして「天上

天下唯我独尊三界皆苦吾当安之」とおつ

しゃつたさうです。生後間もない赤ちゃん

が歩いて喋るのは考えにくいですが、こ

のエピソードには意味があるのです。

東西南北と天地は全ての世界、七歩歩

くのは六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・

人間・天界)の苦しみの世界を超え悟り

にいたること、そして「天上天下唯我独

尊三界皆苦吾当安之」は「全ての苦しむ

人に安心を与えることができる唯一の人

が生まれた」ことを意味しています。

お釈迦さまは、この言葉通りにさとりを

開いて仏さまになり、生涯にわたつて安

心の教えを説き続けたのです。

お釈迦さまは、みんなの幸せのために生

れてくださったのですね。

誰もがそれぞれの人生をそれぞれの価

値観で生きています。生き方は人それぞれ

れですし、何が安心で何が幸せなのかも人

それぞれです。しかし、皆に例外なく決

まっていることがあります。

それは、生まれたからには老いて病にな

り、最終的には死ぬということ。死

の先を知らない人生を生きているとすれ

ば、それは行き先不明の電車に乗つてい

るようなものです。もし「死は無だ」と思

うなら、ガケに向かう電車に乗っているよ

うなものでしょう。途中にどんなに良いこ

とがあつても、結局は不安や絶望に向か

つているのです。そんな私たちに親鸞

聖人は教えてくださいました。

「阿弥陀仏は『死んだら何処に行くのか

迷わなくていいよ。必ず浄土に生れて仏

さまになるんだよ。私にまかせなさい必ず

救うよ』という想いを南無阿弥陀仏に込

めてくださつたんだよ。それを私たちに

伝ええるためにお釈迦さまは生れてくだ

さつたのだよ」

南無阿弥陀仏は、「安心して生ききつて

おいで」という阿弥陀仏からのよび声な

のですね。

【永代経法要】

5月13日(土) 午前10時・午後2時

西淀川区西法寺 本願寺派布教使

園淵 和貴 師

先生より「多くの先人方が、お念仏の何を

喜ばれ、何を残してくださつたのか、お聞

かせいたいただきたいと思ひます。」



一念寺連絡先登録



Instagram